常磐毎日新聞 (昭和31年1月22日 第三種郵便物認可) 夕刊 (日曜、祭日 休刊)

出廷僅か六被告 平事件控訴審開く

第一日 検察側が控訴理由を説明

昨年八月地裁平支部で開かれた第一審で検察陣の予想を裏切り、山田裁判長から「騒乱罪成立せず」という世紀の判決が下された「平事件」の控訴審公判は、きょう四日午前十時五分から仙台高裁で籠倉正治裁判長係、沢田主任検事、竹沢弁護人ら立会で開廷された。この日出廷した被告は鈴木光雄被告団長ら僅かに六名、傍聴者も四十名そこそこという気の抜けたような静けさ。第一日は籠倉裁判長から公判廷における秩序維持について注意があり、鈴木光雄被告、竹沢弁護人から「被告たちの経済的事情」などを理由に審理を早く終らせるよう要望あったのち、沢田検事が控訴理由の説明を行った。弁護人側の弁論は五日に行われるもようだが法廷の静けさに反し、「騒乱罪」をめぐる検察、弁護陣の論戦はし烈を極めるものとみられ、仙台高裁がこれをどう裁くかは注目される。

検察 騒乱罪を確信

被告側全員無罪主張

昨年八月地裁平支部山田裁判長係で行われた判決は「騒乱罪は成立せず」と断じ、個々の職務強要や銃砲等不法所持などで僅か三十六名が有罪となったほかは、百十七名に無罪が言渡された。

これに対し福島地検では最高検の指揮をうけて時をうつさず控訴しまた有罪となった被告たちも「全員無罪」を主張して控訴した。四日行われた沢田検事の控訴理由説明はおよそ七時間に及ぶほう大なものであるが

その要旨は①原判決は暴行、脅迫や長時間にわたる不法占拠の事実、警察機能がマヒした事実さらに当時の客観情勢などを相互関係あるものとして考えなかつた結果、重大な事実誤認を犯している。②市署前における暴行の実行こう為者を四十人前後では「多衆」とは認め難いとしているが、三十数人をもつて多衆と認めた最高裁判例もあるさらに暴こう、脅迫の程度が軽く騒乱罪には当らぬとしているが、これは地方の静穏を害する「結果」の発生が必要であるという見解で法律解釈と適用を誤つたものである。と主張している。

なおこれに対し弁護団側では「平事件は警察のちょう発、および職権の乱用に対する正当防衛であつた」という答弁書を提出しているので、今回は「騒乱罪」に論点をしぼつて相当激しいやりとりがおこなわれるものとみられている。

あす申入れ

磐炭労の賃闘

磐炭労ではきょう四日第二回斗争委員会を開き一月以降の新賃金を最終的に決め五日申入れを行うことになつた。また常炭砿ではきのう三日賃斗事項を東部石炭砿業連盟に申入れ五日には要求額を提出することになつた。なお両組織の共同斗争については常炭砿の決めた一万当七十四アップと、磐炭労の主張する八十四アップにくい違いがあるため新賃金交渉が暗り上つた後半の団交から強力に進める予定になつている。

才末助合い

町村別の目標

石城地方の歳末助け合い運動は十五日までくりひろげられるが、募金目標は七十五万七千五百円と決まつた。冷害地、被保護世帯を除くと一戸当り十二円五十銭の割合いとなる。このほか救援物品も市町村で受付ける。各市町村の目標額つぎの通り。

▽平十六万二千五百円▽常磐十万五百円▽内郷九万二千五百円▽磐城十二万四千五百円▽勿来十一万三千円▽遠野二万三千百十四円▽田人一万四千五十円▽好間五万一千九百四十四円▽三和六千七百六十六円▽四倉四万四千四十円▽小川二万九百八十六円▽川前四千六百円。

郵便物おくれる

全逓平分会一割五分休斗争

年末手当三カ月分と郵便貯金事務機械化反対などを要求して一日から第三波斗争を行つていた全逓平分会（組合員百二十名）は、きょうから四日間二十七名が二割五分休暇斗争に入つた。このため郵便局側では非常勤を動員して対策をこうじているが、郵便物は午前中の作業がかなり遅れ午後から配達している。

古山選手あす歸國

メルボルン・オリンピックで重量挙バンタム級に第八位で入賞した古山征男選手(二)＝常磐市笠井平二三年生＝は五日午前七時五十分羽田着日航機で晴れの帰国する。

勿来にボヤ

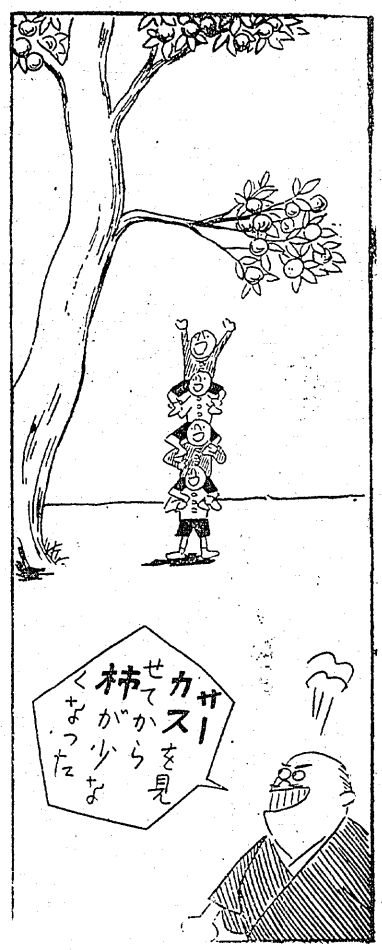
三日午前十一時四十分ころ勿来市三沢町農業児玉国太郎さん宅方から出火、屋根裏とう端約一坪を焼いて消し止めた。原因は留守居のおばあさんが生竹を燃やした火の粉がはねたもの。

渡辺君の美挙

磐城市第一中学校二年六組渡辺幹雄さんは、平凡雑誌五十八冊を平市須老園の人々に読ませて下さいと磐城警察署を通じ依頼した。

常磐に輪業防犯協誕生

常磐市でさきに常磐料飲湯本料飲質屋カフエ組合の防犯組合が結成され防犯に大きな役割を果しているが、去る三日常磐市の自転車販売店が常磐市輪業防犯組合を結成発足した、役員は組合長熊田留弥氏、副小野来松氏、書記矢内平八氏顧問松谷正治氏評議員十四名。



ウイスキー ¥400 ¥80
シエン
嬉寿
平市一丁目電1406

名刺交換会

平は一月一日

平市主催、恒例の新年祝賀名刺交換会が一月一日午前十時から平市公会堂本館で開催される。希望者は住所、職業氏名を明記のうえ会費百八十円を添えて二十日まで市総務課まで申込むこと。

天気予報

(今晩) 南東の風曇時々晴
(明日) 北東の風がやゝ強く晴たり曇つたり北部山沿では小雪のちらつくこともある
(海上) 今晩は風波が高く明日は季節風があり風波が高いから漁船は注意を要す

訃報

父**松崎長太郎**儀兼ねて病気療養中のところ薬石効無く十二月三日午前八時五十分七十五才を以て死去致しました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は十二月六日午後一時自宅出棺大室大運寺に於て仏式により相営みます
昭和三十一年十二月四日
平市新川町二七
喪主 松崎長治右衛門
親戚代表 松崎秀一

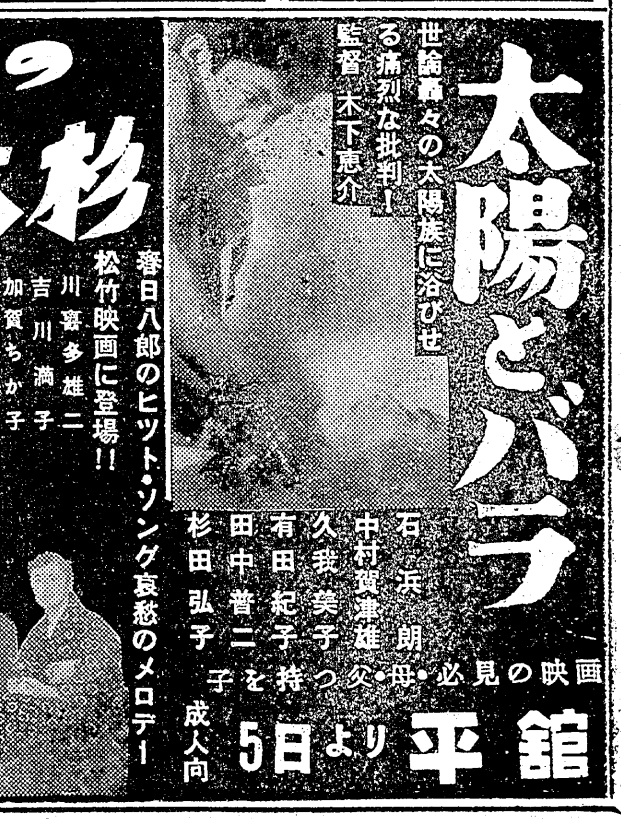
本社々長**松崎長太郎**殿兼ねて病気療養中のところ薬石効無く十二月三日午前八時五十分七十五才を以て死去致しました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は十二月六日午後一時平市新川町の自宅出棺大室大運寺に於て仏式により相営みます
昭和三十一年十二月四日
平市字正月町五五
株式会社 平精麦所

父**五十嵐小平**儀兼ねて病気療養中の処薬石効なく十二月三日午前五時五十分永眠致しました
生前の御厚誼を謝し茲に謹んで御通知申上げます
追つて告別式は来る十二月七日午後一時自宅にて仏式に依り行います
(菩提寺 平市大室寺)
昭和三十一年十二月四日
平市田町一番地の二
喪主 五十嵐進
親戚総代 坂内新平
五十嵐作平

真光院**釋**葬送の際は御多忙中の処遥路態々御会葬下され且御鄭重なる御香でんを賜わり御厚情誠に有難く御礼申上げます 早速拝趨の上御礼申上ぐべきのところ略儀乍ら紙上を以て御礼申上げます
昭和三十一年十二月四日
平市一丁目二
施主 武田健吉
外親戚一同

常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1210
編集部 1269

具 家礼 婚 御
品 度調
三重タンス各種
洋服タンス
ベビータンス
鏡台・針箱
特売奉仕中
伊東家具店
平市新川町 電464



可認物郵便第三種郵便物認定　1部3円　1カ月80円（新聞定価）

少年オリンピア　41

えと文　谷田部風太郎

大森林に迷う　5

朝になって、トリヤが厚く礼をのべ、出発するとなると、おじさんもおばさんも門のところへでて見送ってくれ、チメツカは、部落のはずれまで送ってゆきました。

「さよならあー元気でねえー」

チメツカは手をふりながら、トリヤの影が小さく原つぱの向うへ消えるまでいつまでも見送っていました。

トリヤの行手には再び深い大森林がひろがっていて、果てしなく続いていました。陽の光のとどかない地上の空気は冷たくいくら急いでも汗さえ出ないくらいです。傷の完全に治っていないトリヤは、息をきらしながら急ぎました。

大森林は、三日も四日もつづきました。それは長いトンネルの中でも歩いているように、あきあきするようです。（この森林を通りぬけてしまえば、オプタテシユケの山が見えるかもしれない）トリヤはそう思うと矢もたてもならず、昼も夜もあるきつづけました。

しかし、どこでどう道をまちがえたものか山はだんだん歩きずらくなって、しまいには、どこがどうやら見当もつかなくなってしまいました。

今更、後へ引き返して道を探すようなことはしていられません。しやにむに東へ向つたまま歩きつづけました。

けれど、どこまでいつてもけわしくなる一方で、あせればあせるほど足が前へ出ません。雑草やつる草にひつかかつて、幾ども転げました。

（あせつてはいけない）トリヤは一生懸命自分の心にいいきかせるのですが、そう思うそばから落着を失つていくのです。

山はだんだんと登り坂になつて、ごつごつな岩が多くなつてきました。だが、森林はつきそうもありません。つかれては休み、夜になると野宿をしながらさまよつているうちに、部落で作つてもらつた弁当は、すつかり食べつくしてしまいました。

今どは今までと違い、自分で食料を見つけださなければなりません。傷はだいぶ快くなつてはきたものの、あまり無理はできないので、はやる心をおさえながら、あてのない道を求めながら果しない山の中を、どこまでも歩いていきました。

（つづく）

田子氏ら知事賞

磐城文化祭の入賞者

磐城市産業文化祭は一日から三日間一小校で行われ出品四百六点の内から知事賞五、市長賞五、議長賞三、一等賞七、二等賞五〇、三等賞九十五、努力賞六、の百七十一賞が左記の通りそれぞれ入賞した。（農作物の部）

▽知事賞白菜田子勝男（泉）玄米岡部守（泉田）大根鈴木左京（下川）▽市長賞大豆永山光明（部田）里いも吉田耕作（玉露）ねぎ西丸儀一（南富岡）▽議長賞白菜田子豊（泉）人参川邊清太郎（下川）▽一等賞里いも吉田正（玉露）外六点▽二等賞だい根松本清水（泉）外三十六点▽三等賞梅荒川喜浩（御代）外八十三点▽努力賞だい根上山源作（下かわ）外五点

（すい産物の部）▽知事賞かつ節馬上真八（竹町）みりん干目東物産（古港）▽市長賞かつ節馬ト豊（元分）削節小野照吉（上明神町）▽議長賞かつ節金成利相太（中坪）▽二等賞ひじき佐藤八郎（剣）外十二点▽三等賞みりん干吉だ文吉（折戸）外十一点

地帯だけに風紀が乱れ、この対策のため各部落ごとに補導会を結成子供達を悪の手からまもるため野球大会やハイキング、映画会などを開き青少年の不良化防止に努力した結果、昨年四月から九月まで小中学校の長期欠席児童が二十三名もいたのがことしは十四名に減るなどよい成績を上げている。

銘菓　人気急上昇中　平凡

劇場　開花　四日町　電一三八九

今晩の映画

▼世界館　四日マデ　天使もお年頃　花頭巾

▼ひかり座　十日マデ　大湖沼　黒い天幕

▼聚楽館　八日マデ　情無用の街　カルフオルニヤ

▼平館　四日マデ　ここは静かなり　忘れえぬ慕情

▼民劇　四日マデ　いで湯の姉妹　乳母車　おかしな奴

▼東映劇場　四日マデ　浅草三四郎　朱猟籠り通る

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

- 子供の時間
- 七つの誓い
- スポーツ便り
- 録音ニュース
- 素人即席演芸会
- あつぱれ風来坊
- 食いだおれ一代
- ニュース解説
- 連続浪花節
- お笑い三人組
- 時の動き
- 歌は結ぶ

◆ラジオ福島

- トニーの童話
- イブニングコンサート
- 駿馬天狗
- 音楽の小箱
- 録音ニュース
- 人情夜話
- お笑い街頭録音
- 日立劇場
- バンビタンアワー
- 浪曲
- 夢のステージ
- オリンピックアワー
- 夜の調べ

一日所長など実施

雇傭促進週間の催し

労働省では職安法、失業保険法制定九周年を記念し十二月一日から十日まで全国一斉に雇傭促進強調旬間を繰り展げているが平職安でも期間中一日所長、各事業所にパンフレット、ポスターなどを配布また求人情報の広報宣伝さらに駅前には横断幕、宣伝カーを街に走らせ求人開拓に馬力をかけるなど多彩なPR活動（宣伝）を行う、とくに中高卒の就職には特別求人開拓班を編成して本腰を入れることになつた。

なお同所が発表した三〇年度の就職情況は再来もふくめて年間十三万七千四百五十人（月平均一万一千四百五十四名）実際に別々の人が職安の窓口で相談したのは二万百二十名（月平均千六百七十七名）となつている、これに対して求人数は県内外から一万一千九百二十四名で就職した人は一万二千八名となり、月平均八百三十六人が就職している、またこのほか一般とは別に中卒千五百四十六名、高卒八百四十九名が職業戦線についているほか年間延人員九十二万七千五百十一名の日雇労務者が働いている。

一方失業保険の支払高は月平均二千二百三十四名が受給、支払額は年間で一億七千九百七十一万三千七百四円でこのうち日雇労務者の分が八百四十五万千百円（第一週の受給人員二万八百十三名）となり就職、失保共県内の三分の一を占めている。

藤原川排水工事入札

磐城市おう字玉がわ地内を流れる藤原がわの土木排すい請負工事の競争入札に依る落札に関し三日ご前九時より磐城市役所会議室に於て市内業者七名参集し競議した結果第三工区の場合は請負金額四四六万円で加地和組磐城支店小野一氏に次第四工区の場合は請負金二三〇万円で三崎組太左武彦氏の両名に夫々落札決定したが之の排すい工事は本月中旬より始まり三月完成の予定である。

好間補導会に本部長賞

好間村青少年連合補導会（会長長谷川平八郎氏）県警本部から防犯協力優良団体として県警本部長賞が贈られることになつたこの補導会は二十九年六月つくられたもので、好間村では炭礦特殊やん（ラ）は上り急行二〇四列車にはね飛ばされ頭ガイ骨々折で即死した岡宇日福関野一さんの長男均ちゃん（三）

幼児はねられ死亡

危険な線路上の遊び

三日午前九時三十分ごろ内郷市大神田地内常磐線路わきで遊んでいた岡宇日福関野一さんの長男均ち

東宝　日本映画最高の名作！群画を圧して堂々公開！

流れ　監督　成瀬巳喜男

ゆく夏の風鈴の音にも似て哀しきは女ごころ
紅燈の巷にみずく〳〵しき詩情で描く流転の姿！

原作幸田文

高峰秀子　山田五十鈴　岡田茉莉子　栗島すみ子　杉村春子　田中絹代

源氏鶏太の小説　完璧の映画化！

天上大風　池部良　香川京子

5日封切　民劇

四十八歳の抵抗

川喜多長政　中野尾日ら　進文　浩子子　山村聡　田村孝之　知事　二子

おじさま嫁入りして…そんなこと、「ユカがお嫁に行けなくなるね！」

源泉場の花　宇津井健　久保菜穂子

銃弾の乱射！鮮血の飛ぶき！
快速艇の秘密をねらう国際ギヤング団!!

5日より公開　世界館

肖像画女子習生入用
◆年令満十六・七才の方三名
菊水画房　平市五丁目

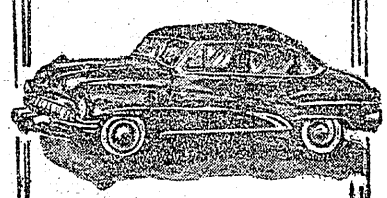
内科　外科　金成医院　平市鎌田町　電話八二六番

名入　新鮮と純生　馬目染工場　平市五丁目　TEL558

愈々　食肉の季節になりました　良品廉売の定評ある　緑屋の牛豚肉を　本店　平市一三九丁目　電五　支店　平駅前甲陽館隣　電七九四番

マイタル粉石鹸　袋屋本店

貸切の御用命は　電話640番



尼子タクシー